

伊達市表彰審議会会議録

日 時 平成23年5月20日（金）午前10時00分～午前10時30分

場 所 市役所2階会議室A

出席者 （委員） 柏谷委員、市澤委員、太田委員、桂川委員

（市） 菊谷市長、菅原総務部長、篠原総務課長、金子総務係長、岡田

－ 1 開会－

菅原部長 おはようございます。本日は、お忙しいところ、お集まり頂きありがとうございます。まだ見えてない方もおられますが、定刻になりましたので、平成23年度伊達市表彰審議会を始めさせていただきます。私、この審議会の司会を務めさせていただきます、総務部長の菅原です。よろしくお願いいたします。それでは開会にあたりまして、菊谷市長から挨拶を申し上げます。

－ 2 あいさつ－

菊谷市長 どうも皆さん、おはようございます。早朝からお集まりいただき、ありがとうございました。私も前回、選挙で当選させていただきまして、早いものでこういう立場について議員から始めて28年、29年目に入りまして昔のことをいつも思い出すようなそんな年になってきまして、私は議員になって途中で質問したことがありまして、表彰の関係で、市政功労をあまりにも簡単に出しすぎではないかと質問したことがあったんです。それは若造のよく知らない考え方で、実際に議員とか市長をやってみると、お金にならないけども一生懸命に何かやられているなって人がたくさんいるなあとという思いがあって、自治会長さんもちろんですけども、民生委員もそうですし、今は全く考えがかわりまして、出来るだけ多くの人達を市政功労もらっていたらいいように、特に最近60になってからされる方が多いので、昔のように20年とか長くすると該当しない人が出てしまうものですから、まあ少し基準ですとか緩めてあげたりして、出来るだけ多くの方が市政功労をもらってほしいなということで。今日は15名を諮問しますが、よろしくお願いいたします。

－ 3 諮問－

菅原部長 議事に入る前に、市長から伊達市表彰審議会に諮問いたしますので柏谷会長、よろしくお願いいたします。

（市長 諮問書を読み上げ、柏谷会長へ手渡す）

菅原部長 このあと審議に入りますが、審議の間、市長は退席しておりますので、よろ

しくをお願いします。

(市長退席)

－ 4 議事－

菅原部長 ただいまから議事に入りますが、一番最後のほうに名簿が付いていると思いますが、本日はですね、渡邊委員と及川委員から所用のため欠席と聞いています。八木沼委員・岩田委員はまだ見えてませんが、表彰条例の規則の中で半数以上の出席で会議が成立するというので、8名中4名出席していますので会議としては成立することを申し上げます。

それでは議事の進行につきましては、柏谷会長にお願いして進めていただきますのでお願いいたします。

柏谷会長 では座ったままで挨拶させていただきます。今日は皆さん、本当に忙しいところ時間を割いていただきまして、どうもありがとうございます。

それでは、はじめに議題(1) 会議録署名委員の指名を行います。伊達市表彰条例施行規則(第5条第5項)に基づき「会議録は、会長及び委員の1人が署名する」こととなっております。従来からの慣例により会議録署名委員は委員名簿の順としております。前回は及川副会長でしたので、今回は1番目の太田委員にお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。資料の最後に名簿付いております。この名簿の一番上に太田さんの名前が載っております。及川さんが前回で終わるということで、太田さんにお願いしたいと思っておりますが、太田さんよろしいですか。

太田委員 はい、了承しました。

柏谷会長 本人の同意を得ましたのでよろしいですよ。それでは、会議を進めさせていただきます。

それでは、市長より諮問を受けましたので、議題2平成23年被表彰者の選考について審議に入ります。事務局より説明をお願いします。

篠原課長 私、4月1日より総務課長で参りました篠原と申します。私の方から説明させていただきます。座って説明いたします。

(被表彰候補者について、平成23年被表彰候補者表により説明)

柏谷会長 只今事務局から15名のそれぞれの功績に対する説明がございました。それでは被表彰者について質疑及び審議を行いたいと思っております。その前にですね、年数比例・加算率、これ非常にちょっと難しいだろうと思っております。これは市の条例等に載っているわけですよ。でも事務局でしっかりとこの件確認されてありますので、まあ問題ないと、そんな風に捉えています。あと、質疑及び審議行いたいと思っておりますが、どなたか何かこの件につきましてありますか。市澤さん、どうですか。

市澤委員 ありません。

柏谷会長 ありませんか。桂川さん、どうですか。私、大滝の方は全然分からないんですよ。

伊達の人たちは大体はね、ほとんど覚えている人で間違えなく問題ない人だと思っているんです。大滝この辺はちょっと分かりません。大滝からは2名でしたか。

桂川委員 1名ですね、岡崎基さん。

市澤委員 これはあれですか、事務局で把握するんですか。

篠原課長 これは各課からそれぞれ提出していただいて、内申が出て参りますので、それを経営会議に図りながら、審議会にお示ししているところです。

柏谷会長 では、黄金のほうはないですか。大滝のほうはないですか。

市澤委員 ないです。

桂川委員 ないです。

柏谷会長 太田さん、よろしいでしょうか。

太田委員 はい。

柏谷会長 まあ何でもあれば質問されたほうがいいかなと思うんですよ。

これは先ほど市長の挨拶の中にもありましたように、出来るだけたくさんの方に、表彰に該当する方は上げたいというような話で、私も最もそのとおりでと思っているんですよ。以前はかなり少なかったものですよ。それでそれなりに問題なくやっていたんだけど、やはりこう段々人が多くなりましたね、去年13名かな、今年は15名、そんな形で年々多くなってきています。それもやはり、それなりの貢献をされてきた方が非常に多くなったなあと思っています。これはいいことだなんて思っておりますよ。あと、この条例に載っている再表彰者ですか、これにつきましては70歳以上という形になっております。そんなことでですね、1回、2回、3回とね受けることが出来るんだなとそんな風に思っております。まだまだ、たくさん埋もれていると思うんですよ。まあ今までのこの表を見てますとね、労働とか科学、これが伊達市からいないんですね。だからね、まあそれなりに関する人がいないのかなあ。これだけ人口が多くなって、今やっぱり科学とか重要視されているわけだから埋れている人がいるんじゃないかな。というところでね、しっかりと目を向けていただきたいなと、そんな感じでありますよ。

市澤委員 条例の見直しは最近やられているのは平成17年…

菅原部長 これはですね、大滝と合併の関係ですね、大滝にもこういう表彰がありまして、そこでもらっていた方については、伊達でもらったと同じようにみなすような規定にしております。それから当然大滝で合併前に活動していた期間もこの条例で適用するような形でやるということで改正をしております。

市澤委員 わかりました。まあさっきはありませんと言ったけども、消防団の方々がね、25年ですよ、なおかつ分団長を経験しないといけないんだというかたちになっている。今、消防団の方もなり手がいないですよ。比較的稀府は若い人がやっているんですが、黄金地区は年輩の方なんですよ。例えば、もう

少しこう、20年くらいにするとかね、副分団長とか部長くらいでも該当にするとかね。

柏谷会長 そうですね、そしたら表彰審議会の表彰者につきましては、今市澤さんが言われたようにですね、消防団員というのは非常に多かったんですよ、以前はね。ここところが、消防団員の表彰は消防の団のための表彰なのかと言う人もいたんですよ。それが段々とやはり、なり手がいないと。そのために段々と消防のほうも表彰者が少なくなってきた。

市澤委員 消防独自の表彰もあるんですよ、確か。

菅原部長 ええ、ありますね。

柏谷会長 そんな形で先ほど市長が言いましたようにですね、まあ出来るだけ多くの功績者となっているんだろうから、市澤さんの言われるようなところももう少し考え直したほうがいいかなと。

菅原部長 3年か4年前に一回確か見直ししているんですよ。市長さっき話しましたけども、たとえば民生委員さんとか自治会長さんとか長い20年とか務めなきゃもらえないような仕組みにしてたんですけど、ご存知のとおり、なり手というのが皆さん退職されてからなられるんで、60過ぎてからそういった色々な地道な仕事とか役をやっているわけですから、80にならないともらえないといった問題もございまして、やっぱり年数をもうちょっと下げるべきということで、そういった19年に見直しし、なるべくもらえるように。消防団のほうはおそらくその、若い年齢から消防団に入っている人が多いものですから、一応25年ということになれば、30歳から始めても55ですし、年数的にはこんなもんでいいのだろうという当時の判断だったと思います。

柏谷会長 それとですね、条例の中にこの表彰は60歳以上という風になっているんですよ。だからね、その前に年数的には該当している人はたくさんいると思うんですよ。ただ年齢が達してないもんだから、まだね時間待ちって感じの人がたくさんいると。まあこれからそういう年齢に差し掛かって受賞される方も出てくるのではないかなと、思っています。

太田委員 まあその、会議所のほうの関係は最近是小間使いになってきています。昔は20年くらい前は名誉職だったんですが、管理職大変忙しくて小間使いのような形で色んなことさせていただいているんですけど、あそこの中で当初25年とか30年ということでしたらね、非常にやっぱりその規格に合わないということが多くて、先ほど市澤さんがおっしゃってたとおり消防団の方ばかりでしたらね、会議所は身銭を、会費を数十万払いながら、地域の経済活動を一生懸命やっているわけで、それでいくら期間を短縮していただきたいというお願いをして20年くらいになってきたという経緯がありますし、こ

の中で会議所のほうは年齢順位といたらおかしいのですが、順番に、対象者を一気に出そうと思えばいるんですが、その辺は事務局を含めてですね、やっぱり継続的に会議所関係から推薦していこうというですね、基本的なスタンスがありまして、今回は2名ということで推薦をさせていただきました。ですからこの後、途切れる事なくですね、出来るだけ会議所関係の方をですね、推薦していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

柏谷会長 昨年もね、会議所から2名出て、あんまり一気に該当する方がどーんと出てしまって、その次ゼロという風なものね。まあ、該当する年取った順からね、出していけばね。若い人はこれからまだそういう機会があろうかと思えます。まあそんなところで、いいですか。

一 同 いいです。

柏谷会長 全員の同意が得られましたので、答申したいと思っておりますので、市長をお呼びください。

(市長入室)

－ 5 答申－

(柏谷会長 答申書を読み上げ、市長へ手渡す)

柏谷会長 議会への提出よろしくお願いします。

菊谷市長 どうもありがとうございます。

柏谷会長 最後に挨拶ではないんですけど、8月23日に祝賀会、今年はどうなるんですか。自粛自粛って…

菊谷市長 いや、やります。

柏谷会長 やるんですか、そんなことでよろしくお願いします。出来るだけ委員さんね、出席していただきたいなあと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。どうもありがとうございました。

－ 6 閉会－

菅原部長 以上を持ちまして、表彰審議会を終了いたします。どうも皆さん、ご苦勞様でございました。

氏 名	表彰領域	表彰功績
藤 川 清 勝	自 治 功 労	農業委員会委員
齊 藤 周 一	自 治 功 労	農業委員会委員
辻 浦 正 浩	自 治 功 労	自治会長
小野寺 隆 之	産 業 経 済 功 労	伊達商工会議所役員
三 浦 克 朗	産 業 経 済 功 労	伊達商工会議所役員
岡 崎 基	社 会 福 祉 功 労	伊達市民生児童委員
篠 原 絹 子	社 会 福 祉 功 労	伊達市民生児童委員
湯 淺 勝 義	社 会 福 祉 功 労	伊達市民生児童委員
早 坂 きみ子	社 会 福 祉 功 労	保護司
太 田 智	社 会 福 祉 功 労	保護司
坂 元 榮	防 災 功 労	伊達市消防団
清 野 一 秋	防 災 功 労	伊達市消防団
菅 原 政 満	防 災 功 労	伊達市消防団
藤 井 強	防 災 功 労	伊達市消防団
渡 邊 敏 行	体 育 功 労	伊達市体育指導委員